
パーティーの救世主

水仙英華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パーティーの救世主

【Nコード】

N2562BA

【作者名】

水仙英華

【あらすじ】

この物語は、勇者見習い救世主の平凡な冒険を淡々と描くものです。過度な期待はしないでください。

パーティーの救世主兼勇者のメシア、元宮廷魔法使いヴェリシュラ、男の娘戦士アフエラン、盗賊兼王女のパーティアが織りなすパロディ、

ギャグしかない物語です。世界を救うかもしれないし、救われないかもしれない。そんな4人は今日も往く。

最終回（前書き）

各所にごめんなさい。

最終回

「フハハハハハハ、メシアと言ったか、その程度で我に楯突こうと
いうのか笑止千万」

「つく、まさか私の魔法で傷一つ付かないなんて……」

「勇者殿、これ以上は耐えられません！ まだ詠唱は終わらないの
ですか!？」

「な、メシア様いけません！ その魔法詠唱は……は禁呪ではあり
ませんか！ そのような魔法を使つては、メシア様が亡くなつてし
まいます。えっ？ 私のためなら命も惜しくないですって……そん
なメシア様こんな時に愛の告白だなんて……」

「勇者殿……」

「あんた死んだら許さないんだからね！ 一緒に帰るって約束した
じゃない!」

「メシアは、生命のすべてを使い魔王に渾身の一撃を見舞うと、力
尽き倒れた。3人はメシアのもとに駆け寄ると」

「何してるんだ……」

食卓を囲む3人に向かってメシアは手に持った水の代わりに、つ

つこみと冷たい視線を浴びせた。

「もしも、魔王と戦うことになった時のシミュレーションに決まってるじゃない。これからがいいところなの邪魔しないでくれる？」
さも当然の事をしていた。といった口調で、メシアの持ってきた水を受け取る。

「いやいや！ 何で僕が死ぬことになってるのさ！ 僕、魔法とか使えないからね！？ それから、どさくさに紛れて、ヴェリシユラさんも勝手に愛の告白を捏造しないでください！」

「メシア様、そんなに恥ずかし……」
ヴェリシユラの発言を遮るようにメシアは口を開く。

「別に、恥ずかしがってるわけじゃないんですよ！ だいたいなんでもこんな話してるんですか！ もう少し時と場所を考えてください！」

「ふう、そうよね……あたしが悪かったわ……」
大きなため息と共にパルティアは謝罪した。

「分かってくれればいいんだ……」
意外な謝罪を受けて、困惑しているメシアに向かって、パルティは言い放った。

「魔王が有無も言わず戦闘するわけないものね……経済の有効性を説いて契約を結んだり、世界の半分を交渉材料にしてだまし討ちにするに決まってるわ！」

「ごめんなさい！ 僕が悪かったですごめんなさい。魔王より怖いものが来るのでやめてください！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2562ba/>

パーティーの救世主

2012年1月6日16時52分発行